

わが国管理会計研究の査読体制に関する 実態調査

●調査実施にあたって

わが国管理会計研究においても、査読制度（Peer Review System）による査読付学術論文の公刊とその業績評価への反映という文化が広まってきました。しかし、現代の査読制度は適切に機能していると言えるでしょうか。そもそも、管理会計研究における査読制度のあるべき姿自体が不明確であるということはないのでしょうか。本実態調査は、わが国管理会計研究における査読制度とそれをめぐる問題を明らかにするとともに、査読制度の今後のよりよき姿を模索することを目的としています。この調査研究がわが国の管理会計研究の健全な発展と優れた研究論文の蓄積、さらには、わが国の経営実務の発展に貢献する一助になればと考えます。

本調査にあたり、回答者の個人情報 は求めておりません。また、回答は強制するものではなく、回答の結果として回答者が不利益を受けることはありません。調査結果は統計情報や統計分析の結果として公表し、学会発表や論文執筆等に用いますが、個票の公表や他の目的での二次利用はいたしません。本調査の目的と趣旨に同意される方は、本調査へご回答いただけますと幸いです。日々の教育研究にお忙しい中大変恐縮ですが、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

なお、本調査は、「管理会計研究における査読制度の高度化に関する調査研究」（牧誠財団（旧メルコ財団）研究助成（2021年度第3次）対象研究）の一環として実施するものです。

●調査概要

対象者：researchmapで「研究分野」に管理会計、マネジメントコントロール、原価計算、コストマネジメント等管理会計関連領域を記載している日本の管理会計研究者。および、『管理会計学2020年、2021年』，『原価計算研究2021年、2022年』，『会計プロGRESS20号、21号』の査読者。

対象学術雑誌：『管理会計学』，『原価計算研究』，『メルコ管理会計研究』および『会計プロGRESS』

投稿・査読対象となる論文の調査対象期間：2018年1月から2022年12月までの5年間

●調査代表者

加登 豊（同志社大学大学院ビジネス研究科）

本調査への参加意向 *

調査に参加していただける方は、「同意する」を選択しお進みください。

- 同意する
- 同意しない

I 研究成果の学術雑誌への投稿に関する質問 1

問1 投稿前の準備 *

学術雑誌への投稿に備えて、実施している活動があれば、該当するものすべてについてチェックボックスに印をおつけください。「その他」に印をお付けの方は、なるべく詳細に記述してください。

- 研究仲間とのインフォーマルな勉強会やピア評価
- 所属している研究会での報告
- ワーキングペーパーの作成
- 学会報告
- その他:

問2 投稿先の選択：査読および審査がない学術雑誌 *

無査読・無審査の学術雑誌を投稿先として選択したことがありますか。

- はい
- いいえ

上の質問で「はい」と回答いただいた方への質問です。無査読・無審査の学術雑誌を投稿先として選択した理由をお答えください。「その他」に印をお付けの方は、なるべく詳細に記述してください。

- 執筆ローテーションが回ってきたから
- 昇進・昇給等のための研究業績としてカウントされるから
- その他:

問3 査読付き学術雑誌の投稿について *

あなたは、査読付き学術雑誌への研究成果の投稿にあたって、どのような理由で雑誌を選択していますか。該当するものすべてにチェックボックスに印をおつけください。「その他」に印をお付けの方は、なるべく詳細に記述してください。

- 雑誌の編集方針と投稿予定の論文の内容が合致しているから
- 査読対応が短期間で迅速に行われるから
- 査読者コメントが適切で、投稿した論文の質の向上に役立つから
- 学会誌としての評価が高いから
- 投稿予定の論文の中核的な先行研究が掲載されているから
- 投稿予定の論文の以前に採択・掲載された成功体験があるから
- その他:

I 研究成果の学術雑誌への投稿に関する質問 2

問 4 雑誌の魅力度 *

投稿先として、下記の学術雑誌はあなたにとってどれくらい魅力的でしょうか。

(1:まったく魅力的でない, 3:どちらともいえない, 5:きわめて魅力的である)

	1	2	3	4	5
管理会計学	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
原価計算研究	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
メルコ管理会計研究	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
会計プロセス	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

I 研究成果の学術雑誌への投稿に関する質問 3

問8-1 選定された査読者についての感想『管理会計学』*

過去5年間について、『管理会計学』に対してあなたが投稿した論文に対する、学術雑誌編集委員会による査読者（レフリー）の選定について適任だったか否かをご回答ください。

- 0 投稿していないためわからない
- 1 適任者ではなかった
- 2 適任者でないことが多かった
- 3 どちらともいえない
- 4 おおむね適任者であった
- 5 適任者であった

問8-2 選定された査読者についての感想『原価計算研究』*

過去5年間について、『原価計算研究』に対してあなたが投稿した論文に対する、学術雑誌編集委員会による査読者（レフリー）の選定について適任だったか否かをご回答ください。

- 0 投稿していないためわからない
- 1 適任者ではなかった
- 2 適任者でないことが多かった
- 3 どちらともいえない
- 4 おおむね適任者であった
- 5 適任者であった

問8-3 選定された査読者についての感想『メルコ管理会計研究』*

過去5年間について、『メルコ管理会計研究』に対してあなたが投稿した論文に対する、学術雑誌編集委員会による査読者（レフリー）の選定について適任だったか否かをご回答ください。

- 0 投稿していないためわからない
- 1 適任者ではなかった
- 2 適任者でないことが多かった
- 3 どちらともいえない
- 4 おおむね適任者であった
- 5 適任者であった

問8-4 選定された査読者についての感想『会計プロGRESS』*

過去5年間について、『会計プロGRESS』に対してあなたが投稿した論文に対する、学術雑誌編集委員会による査読者（レフリー）の選定について適任だったか否かをご回答ください。

- 0 投稿していないためわからない
- 1 適任者ではなかった
- 2 適任者でないことが多かった
- 3 どちらともいえない
- 4 おおむね適任者であった
- 5 適任者であった

問9 査読者からの建設的コメント

査読者は、投稿された論文について建設的なコメントを行い、論文の質向上ならびに学術雑誌のレベルアップに寄与する対応をすることが期待されています。これまでの査読を受けたすべての経験を振り返ったときに、どのようなコメントがあなたの論文をより洗練されたものにしたでしょうか。具体的な体験について、ご回答ください。

回答を入力

問10 レフリーのコメントへの対応*

「レフリーのコメントに対応しなければ不受理になる可能性が高い」と思われますか。あなたのご意見をお聞かせ下さい。

- 1 まったくそう思わない
- 2 ややそう思わない
- 3 どちらともいえない
- 4 ややそう思う
- 5 強くそう思う

問11 査読者のコメントに関する体験

これまでの査読を受けた経験を振り返って、査読レポートについて、具体的な体験で該当するものすべてに、印をおつけください。「その他」に印をお付けの方は、なるべく詳細に記述してください。

- 投稿した論文の研究領域に関する知識が十分にあるとは思えなかった
- 修正要求が過大で、修正期間に対する考慮があるとは感じられなかった
- 論文の改善指摘事項が的外れであることがあった
- レフリーの個人的嗜好や見解を執筆者に押し付ける傾向がみられた
- 投稿した論文を改善する助言はなく、問題点の指摘に終始していた
- 論文を読み込んだうえでのコメントとは思われなかった
- 査読品質に問題がある場合でも、査読者交代を学術雑誌編集委員会に対して要請できる制度が存在しないので、ストレスがたまった
- その他:

I 研究成果の学術雑誌への投稿に関する質問 4

問12 査読意見の不一致 *

これまでに、査読プロセスで査読結果がスプリット（※）したことがありますか。

※論文は最終的に採択（受理）されたが、査読プロセスにおいて不採択（非受理）とした査読者がいた場合、もしくは、論文は採択されなかったが（非受理）、査読プロセスにおいて「採択（受理）」もしくは「修正を条件とする採択（受理）」と評価した査読者がいた場合。

- はい
- いいえ

スプリットされた経験がある方にお伺いいたします。スプリット後、最終的に論文が採択された比率はどの程度ですか。

- 0%
- 50%未満
- 50%-75%
- 76% 以上100%未満
- 100%

問13 レフリーのコメントへの対応 *

レフリーのコメントについて、査読者との見解が異なると感じた時、どのように対応されますか。該当するものすべてに印をおつけください。「その他」に印をお付けの方は、なるべく詳細に記述してください。

- レフリーのコメントに応えるように論文を修正する
- レフリーに自らの主張の根拠をより丁寧に説明する
- 査読中であっても、投稿を取り下げる
- その他:

問14 不採択となった論文の取り扱い *

査読によって論文が不採択となった後、どのようなアクションをとられましたか。該当するものすべてに印をおつけください。「その他」に印をお付けの方は、なるべく詳細に記述してください。

- 別の学術雑誌に投稿し、掲載を目指した
- 学術雑誌掲載をあきらめた
- 査読制度のない雑誌等への掲載を目指した
- その他:

Ⅱ 学術雑誌の査読に関する質問

本セクションでは、あなたの査読経験や査読への対応についてお聞きします。

問15 査読依頼の有無 *

査読付き学術雑誌の査読者就任依頼を受けたことがありますか。

- ある
- ない

査読者を受託したことがある方にお伺いします。受託された理由は何ですか。なるべく具体的にお答えください。

回答を入力

辞退したことがある方にお伺いします。辞退された理由は何ですか。なるべく具体的にお答えください。

回答を入力

問16 査読経験 *

あなたが過去5年において、査読付学術雑誌で査読した論文数をお答えください。

回答を入力

うち『管理会計学』

回答を入力

うち『原価計算研究』

回答を入力

うち『メルコ管理会計研究』

回答を入力

うち『会計プロGRESS』

回答を入力

うちその他の学術雑誌

回答を入力

Ⅱ 学術雑誌の査読に関する質問 2

問18 査読上の経験*

過去5年間の査読経験を振り返り、以下に該当することがありましたか。該当するものすべてに印をおつけください。「その他」に印をお付けの方は、なるべく詳細に記述してください。

- 他の査読者と査読結果が大きく異なったことがある
- 投稿論文の内容に関する専門知識がまったくなかったが査読を引き受けた
- 完全に的外れな査読コメントをしてしまった
- 投稿者に対して、個人的選好や見解を押し付けてしまった
- 査読コメントが問題点の指摘や批判のみに終始してしまった
- 投稿論文をしっかりと読み込まずに査読コメントをしてしまった
- 査読コメントにおいて、不採択理由の丁寧な説明をせず不採択としてしまった
- 最初の査読コメントで指摘しなかったことについて、2回目の査読コメントで新たに問題を指摘したり批判したりしてしまった
- メジャーな修正が必要だと感じたが、修正確認の必要な評価としなかった
- その他:

問19 『管理会計学』，『原価計算研究』，『メルコ管理会計研究』 および『会計プロセス』の査読規定等について、どのように評価されますか。特に、改善すべき点があればご意見をお聞かせください。

『管理会計学』

回答を入力

『原価計算研究』

回答を入力

『メルコ管理会計研究』

回答を入力

『会計プロGRESS』

回答を入力

問20 投稿論文の問題点 *

査読を担当した投稿論文に関して、以下の各項目で該当するものがあったという経験がありますか。該当するものすべてに印をおつけください。「その他」に印をお付けの方は、なるべく詳細に記述してください。

- 誤字脱字が散見された
- 文章力に問題があった
- 研究目的が明確でなかった
- 適切な先行研究レビューが行われていなかった
- 先行研究として取り上げないといけない文献が欠落していた
- 採用した研究方法が適切でなかった
- 研究方法に不備があった
- 分析結果の解釈が適切に行われていなかった
- 研究結果の導出に無理があった
- 研究の進展にさほどの貢献があるとは思えなかった
- その他:

Ⅲ回答者のプロフィール

個人情報、一切公表しません。回答いただいた結果全体の分析に必要なデータですので、出来る限りご回答ください。

問21 年齢

2023年1月1日時点におけるあなたの年齢についてお答えください。該当する項目をお選びください。

- 20歳代
- 30歳代
- 40歳代
- 50歳代
- 60歳代
- 70歳以上

問22 所属・職位

2023年1月1日時点におけるあなたの所属・職位についてお答えください。該当するボックスすべてにチェックしてください。

大学等研究教育機関に所属している場合

- 大学院生（一般, 現役・ポスドクを含む）
- 大学院生（社会人, MBA・博士課程後期課程を含む）
- 助教
- 准教授
- 教授
- 特任教授等

大学等研究教育機関以外の場合

企業・団体

その他:

問23 2023年1月1日時点における博士号取得からの経過年数をお答えください。

博士号を有していない

1～5年

6～10年

11～15年

16～20年

21～25年

25年以上

おわりに

●オンライン面接調査参加のお願い

質問は以上です。ご回答ありがとうございました。我々は、我が国管理会計領域の査読制度の課題やあるべき姿について、1人でも多くの皆様から直接ご意見を伺いたいと考えております（最大1時間のオンライン面接調査を予定）。この趣旨にご賛同くださる回答者の皆様は、大変お手数ですが、下記のQRコードからお名前とメールアドレスをご入力くださいませ。なお、このQRコードによる入力情報は、本質問調査とは独立したサイトで取得し、独立して管理します。お名前とメールアドレスを本質問調査の回答と紐づけることはできませんし、個人の識別行為は行いません。

●調査結果の撤回について

また、本質問票調査への参加は任意であり、あなたの自由な意思が尊重されます。いったん参加に同意した場合でも、2023年2月28日までは同意を撤回することができます。その場合、質問票への回答内容が研究に用いられることはありません。なお、学会報告や論文として座談会の内容を公表する場合には、完全に匿名性を確保します。

●調査に関する連絡先

本質問調査およびオンライン面接調査へのご質問やご不明点、もしくは調査への同意を撤回する場合がございますら、大変お手数ですが、以下の連絡先までご連絡ください。

同志社大学大学院 ビジネス研究科教授
加登豊 (ykato@mail.doshisha.ac.jp)

オンライン面接調査回答フォーム（URL）

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSc6eZEHkUfP_1Do8g8ICDi_pCGZg6Zw9r-SW6G4GdCqoqJn2A/viewform?usp=sf_link

オンライン面接調査回答フォーム（QRコード）

